

中生、晩生とも出穂期は平年比 1～2 日早い見込み！ コシヒカリで葉色が濃いほ場の穂肥は慎重に！

1 生育状況 (7月8日現在) ※指標値・差は7月10日の指標値と比較

コシヒカリ：草丈「並」 茎数「並」 葉数の進み「並」 葉色「やや濃」

品種		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD 値)
コシヒカリ (調査点数 10)	本年値	65	426	11.1	37.4
	指標比・差	96 %	93 %	-0.2	+1.4
こしいぶき (調査点数 5)	本年値	59	459	11.5	40.6
	指標値・差	96 %	96 %	-0.2	+3.6
新之助 (調査点数 5)	本年値	56	553	11.3	38.1
	指標比・差	107 %	95 %	0.0	+2.1

2 今後の天気 (7月4日～8月3日：新潟地方気象台7月2日発表)

気温：高い確率 70% 降水量：ほぼ平年並み 日照時間：ほぼ平年並み

3 出穂期予測と穂肥時期・施用量のめやす (7月8日現在)

品種名	出穂期	穂肥時期のめやす(出穂前日数)		合計窒素量 (kg/10a)
		1回目	2回目	
早生 こしいぶき	7/25	7/2 (23)	7/11 (14)	2回目のめやす 1～1.5
中生 コシヒカリ	8/4	7/17～7/20 (18～15)	7/25 (10)	1～3
晩生 新之助	8/10	7/20～7/23 (21～18)	7/29～7/31 (12～10)	2

※早生・中生品種 5/5 植え、新之助 5月第3半旬植えを想定

※出穂期は今後の気象条件で変動することもあるため、今後の情報に注意する。

4 今後の栽培管理

- (1) 根の活力維持のためほ場の乾燥は避け飽水管理を徹底する。異常高温時は速やかに湛水し、稲体の急激な水分不足を防止する。
- (2) コシヒカリの穂肥時期は、必ず幼穂長を確認してから決める。葉色値 (SPAD 値) が 33 を超える場合は、1 回目穂肥の施用時期を遅らせる。
- (3) コシヒカリ BL 以外の品種で葉もちを確認したら直ちに防除する (7/6 に感染好適条件)。また、紋枯病の発病が見られたら遅れずに防除する。
- (4) 斑点米発生防止のため、7 月中旬までに農道や畦畔の草刈りを行い、カメムシの増殖を抑える (6/30 に注意報発令)。

～ 農作業時の熱中症対策は万全に！ ～